



# 基盤整備事業と一体となった獣害対策の取組

～自力施工による金網柵の試験から広域的な整備への展開～

基盤整備事業を実施した羽場坂地区において、金網柵の試験設置を行い、適切な設置方法の習得や侵入防止の効果が確認されたことから、補助事業を活用して、自力施工による広域的な金網柵が整備された。

また柵の開口部に獣害対策のための「粗目グレーチング」を設置し、侵入防止を図ったことから被害が大きく減少した。

市町村	渋川市
地区	羽場坂
農家戸数	133戸（受益戸数）
農地面積	5,380 a
主な作目	コンニャク、トウモロコシ
加害獣種	シカ、イノシシ

## 背景

県営畑地帯総合整備事業により整備した農地において、シカによる踏み荒らしや食害が発生していた。

農業者はロープ、ネット等で個々に対策をとっていたが、被害が増加してきたことから広域的な対策が必要となっていた。

## 事業内容

### 【主な取組】

- ◆自力施工による侵入防止柵（金網柵）の試験設置（二種類の資材、施工労力の比較検討）
- ◆補助事業による本格的導入の検討
- ◆侵入防止柵の維持管理体制の構築

### 【取組経過】

- H22年 9月 事業実施説明会
- 11月 地区営農者代表会議
- 12月 金網柵実証圃の設置
- 12月 補助事業で金網柵の導入

## 被害の発生

- ・作物の食害  
（野菜の成長点を食べることによる生育不良）
- ・畑の踏み荒らし  
（ビニールマルチ破損による土壌消毒の無効化）



シカによる被害



土壌消毒マルチ踏み荒らし



## 試験サンプルの金網柵を設置



## 成果

- ◆ 試験設置により、効率的な自力施工方法を習得することができた。
- ◆ 広域的に対策することの有効性が理解され、地区内の農業者が協力して、金網柵を自力施工した。
- ◆ H23に補助事業を活用して計2.5kmの金網柵を施工することができた。
- ◆ 金網柵の設置に伴い、開口部からの侵入対策として地域公共事業調整費等を活用し、粗目グレーチングが4箇所設置された。

金網柵を自力施工



金網柵開口部は粗目グレーチングにより動物の侵入を遮断



## 地区代表者 コメント

金網柵の設置は大変だったが、安心して営農できるようになった。台風などにより倒木があった時の撤去や修繕が課題である。

## 事後評価

指標	A	B	C	D
被害	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
出沒	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
集落環境	改善した	やや改善した	変わらない	悪くなった
集落ぐるみの取組	出来ている	概ね出来ている	一部出来ている	出来ていない
対策実施	よく実施している	概ね実施している	一部実施している	実施していない
波及性	波及した	概ね波及した	一部波及した	波及していない
効果の実感	満足	やや満足	やや不満	不満

## センター評価

集落ぐるみ事業を契機に交付金事業等で金網柵（約3km）を整備している。金網柵は、一部で除草が不十分な箇所があるものの概ね適正に維持管理されており、また開口部には粗目グレーチングを設置し、侵入を防止していることから被害が大きく減少した事例である。

## 課題

倒木があった時の撤去や金網柵の補修に労力・経費が掛かるため、その費用の捻出や労力提供のルール作りが必要である。